

令和2年度宇都宮市地産地消推進会議

書 面 開 催

令和2年4月30日付

○ 議事

- 1 議案第1号 令和元年度事業報告及び収支決算について
- 2 議案第2号 令和2年度事業計画及び収支予算について

宇都宮市地産地消推進会議委員名簿

役職	No	氏名	職業等	任期	備考
第1号委員 (市議会議員)	1	あまが い み え こ 天谷 美恵子	市議会議員	令和元年6月14日～ 令和3年6月13日	新任
	2	や こ う よ し か ず 矢古宇 芳一	市議会議員	令和元年6月14日～ 令和3年6月13日	新任
第2号委員 (学識経験者)	3	つ う ら こ う い ち 津浦 好一	栃木県河内農業振興事務所 所長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	
	会長	し が と お る 志賀 徹	宇都宮大学 名誉教授	〃	
第3号委員 (関係団体の代表)	副会長	い し は ら の り お 石原 典男	宇都宮農業協同組合 代表理事常務	〃	
		し ば た あ つ こ 柴田 敦子	アグリランドシティショップ 会長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	新任
		か な え だ ゆ う こ 金枝 右子	宇都宮市消費者友の会 会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	
		ま す ぶ ち し ず え 増渕 静枝	宇都宮市農村生活研究グループ協議会 会長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	新任
		し お い し げ と し 塩井 重利	宇都宮市園芸振興連絡協議会 副協議会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	
		た の べ だ い す け 田野邊 大介	東一字都宮青果株式会社 代表取締役社長	〃	
		た む ら けんいち 田村 健一	栃木県飲食業生活衛生同業組合 宇都宮大衆支部 支部長	〃	
	監事	と く お か ひ ろ し 徳岡 浩史	公益社団法人 宇都宮青年会議所 常任理事	〃	
		ま す ぶ ち さ ち こ 増渕 祥子	宇都宮市食生活改善推進員協議会 会長	〃	
	監事	さ と う か な め 佐藤 要	宇都宮市PTA連合会 常任理事	〃	
	ま つ も と ゆ ず る 松本 謙	株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長	〃		
	こ ば や し と し ゆ き 小林 利幸	宇都宮青果商業協同組合 専務理事	〃		
	いちかわ ゆ う じ 市川 裕二	株式会社東武宇都宮百貨店 食品・レストラン部 部長	〃		
	わかばやし ふ み お 若林 二三夫	株式会社オータニ 執行役員商品部部 長	〃		

宇都宮市地産地消推進会議 事務局名簿

役職	氏名	所属
事務局長	荒木 義行	農林生産流通課 課長
事務局次長	和田 貴弘	農林生産流通課 課長補佐 森林整備・鳥獣対策グループ係長兼務
事務局	大島 健一	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ係長
	君島 大輔	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ総括
	河野 勝	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	金子 明日美	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	仲村 亜依	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ

議案第 1 号 令和元年度事業報告及び収支決算について

令和元年度事業報告及び収支決算について、運営要領第 5 条第 1 項第 1 号及び第 2 号の規定に基づき、次のとおり議決を求めます。

令和 2 年 4 月 3 0 日


令和元年度事業報告

1 事業方針


「地産地消推進計画（第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画のうち、基本施策3 市民と農家を結ぶ地産地消の強化）」に基づき、直売所等の市内に立地する農産物の販売施設を活かし、市民が宇都宮市産農産物を手に入れやすい仕組みづくりを推進するとともに、引き続き安全・安心な宇都宮市産農産物が提供され、市民の宇都宮市産農産物の購入意欲の喚起につながる事業を展開していく。


2. 事業内容



(1) 市民が支える仕組みづくり

実施日	人数等	内 容【経費】	場所等
R1. 10. 6	来場者数 38,000 人	うつのみや食育フェアにおけるPR こしひかりの精米体験を通して宇都宮市産米の特徴やおいしさのPR	宇都宮城址公園
R1. 11	—	地産地消強化月間におけるPR 広報紙での地産地消特集 市役所1階ディスプレイでの宇都宮市産米の紹介や地産地消パネルの展示	—
R1. 11. 16 ～11. 17	来場者数 40,000 人	宇都宮市農林業祭におけるPR 宇都宮市産米のPR、地産地消推進店マップ等パンフレットの配布	ろまんちつく村
R1. 8. 1 ～12. 31	—	地産地消啓発動画の作成 宇都宮メディア・アーツ専門学校と連携し、地産地消の意味意義を啓発する動画を作成、HPに掲載、市内保育園・小中学校へ配布 〔動画〕農業王国うつのみやホームページ内 URL : https://www.u-agrinet.jp/features/  「プロモーション動画を見る」をクリック 【155,681 円】	—

(2) 手に入れやすい仕組みづくり

実施	人数等	内 容【経費】	場所等
H31. 4. 1～	—	<p>イベントにおける宮サラの活用</p> <p>[宮サラとは]</p> <p>宇都宮市産農産物を使用し、「食べて、心も身体も愉快になるサラダ」とキューピー(株)北関東営業所が提案したもので、「宮サラ」を消費者に継続的・反復的に提供することで、宇都宮市産農産物の認知度向上及び消費拡大を図るもの</p> <p>[活用したイベント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うつのみや地産地消マルシェ (R1. 10. 5) 宇都宮マルシェ (R1. 11. 17) ⇒宮サラの試食コーナーの設置 ・ 地産地消推進キャンペーン (R1. 10. 1～11. 30) ⇒宮サラレシピの配布 ・ 飲食店フェア (R1. 11. 1～12. 31) ⇒ 宮サラメニューを食べることで野菜詰合せなど宇都宮農産物を抽選でプレゼント 	南 図 書館， 東武百貨店， 地産地消推進店（小売店・飲食店）
H31. 4. 1 ～ R1. 6. 30	来場者数 30,514人 応募総数 539通	<p>うつのみや地産地消推進店（宿泊施設）における「うつのみやのあさごはんフェア」の実施</p> <p>※栃木デスティネーションキャンペーン（以下DC）のアフターDC限定として実施</p> <p>◆内容 栃木DCにおいて、宇都宮市産農産物の利用及び消費拡大を図るため、</p>	市内ホテル（7店舗）

		<p>うつのみや地産地消推進店（宿泊施設）にて、宇都宮市産農産物を使用した施設ごとのオリジナル地産地消朝食メニューを提供。店舗設置のアンケートに記入し、応募すると宇都宮市産農産物等のプレゼントが当たる企画を実施</p> <p>〔参加店舗〕</p> <p>ホテルザセントレ宇都宮 ホテルマイステイズ宇都宮 ホテル丸治，ホテル東日本宇都宮 宇都宮グランドホテル，ホテル川辺 ＪＲ東日本ホテルメッツ宇都宮</p>  <p>【439,992円】</p>	
R1. 10. 5	来場者数 2,986人	<p>「うつのみや地産地消マルシェ」の開催</p> <p>◆内容 宇都宮市産農産物の認知度向上及び消費拡大を促進するため、宇都宮農業協同組合、南図書館カフェ「ラウハ・クッカ」（うつのみや地産地消推進店）と共催し、うつのみや地産地消マルシェ及び地産地消パネル展を開催。</p> <p>（地産地消パネル展はR2. 1. 28～2. 28に開催，46,950人來場）</p> <p>〔出展内容〕</p> <p>農業王国うつのみやのPR，新米や宇都宮牛（ごはんにかけるハンバーグ）の試食，梨を使った宮サラの試食，アンケートに協力いただいた方に地産地消啓発グッズをプレゼント</p>	南図書館

		 <p style="text-align: right;">【7,318 円】</p>	
R1. 11. 17	<p>来場者数 2,715 人</p>	<p>「うつのみやマルシェ」の開催</p> <p>◆内容 うつのみや地産地消推進店の利用促進や宇都宮市産農産物の消費拡大を図るため、東武宇都宮百貨店において開催される「栃ナビ！マルシェパンまつり」と同時開催で「うつのみやマルシェ」を開催。</p> <p>〔出展者及び出展内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリランドシティショップ ⇒ 農産物直売コーナー ・(株)オニックスジャパン ⇒ アグリネットワークコーナー ・農産物直売所あぜみち・キューピー(株) ⇒ 宮サラコーナー  <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市地産地消推進会議 ⇒ 農業王国うつのみやPRコーナー、アンケートに協力いただいた方等に地産地消啓発グッズをプレゼント、また地産地消啓発動画の放映 <p style="text-align: right;">【156,200 円】</p>	東武宇都宮百貨店

<p>R1. 10. 1 ～11. 30</p>	<p>応募数 6, 257 通 前期： 1, 368 通 後期： 4, 889 通</p>	<p>直売所と小売店を活用したキャンペーンの実施 ◆キャンペーン名 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」 ◆内容 実施店舗にて販売される宇都宮市産農産物に貼付されているシールを10枚集めて応募すると、抽選で野菜詰合せなど宇都宮市農産物をプレゼントするもの。(宮サラレシピも併せて配布:うつのみや地産地消推進店である直売所・小売店のうち47店舗に配布)</p>  <p>【4, 253, 126 円※】 ※ 経費は「食べよう！ 採れたて うつのみや産キャンペーン」との合計金額</p>	<p>MEGA ドン・キホーテラパーク宇都宮店、アグリランドシティショップなど</p>
<p>R1. 11. 1 ～12. 31</p>	<p>応募数 741 通 前期：302 通 後期：439 通</p>	<p>飲食店と宿泊施設を活用したフェアの実施 ◆キャンペーン名 「食べよう！ 採れたて うつのみや産キャンペーン」 ◆内容 各店舗オリジナルの期間限定宮サラメニューを食べることで、応募用紙にスタンプを押してもらい、スタンプを1～3個集めて応募することで、野菜詰合せなど宇都宮市農産物をプレゼントするもの 〔実施店舗〕 うつのみや地産地消推進店である飲食店・宿泊施設のうち25店舗 再掲【4, 253, 126 円※】 ※ 経費は「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」との合計</p>	<p>キッチンサザカ、ベジタブルベースカメラなど</p>



<p>通年</p>		<p>うつのみや地産地消推進店認定</p> <p>◆内容 宇都宮市産農産物の利用促進に係るキャンペーンやフェアの開催にあたり、新規となる市内小売店及び飲食店に案内し、キャンペーンやフェアへの参加を促すとともに、地産地消推進店への加入を促進した。</p> <p>また、PR用に地産地消推進店マップを作成し、市内外のイベントにおいて配布予定。</p> <p>◆令和元年度認定件数</p> <p>新規 12店舗 更新 28店舗 辞退 12店舗</p> <p>◆推進店数 前年度比</p> <table border="1" data-bbox="625 1366 1141 1668"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直売所</td> <td>10店舗</td> <td>10店舗</td> </tr> <tr> <td>小売店・量販店</td> <td>64店舗</td> <td>67店舗</td> </tr> <tr> <td>飲食業・宿泊施設</td> <td>65店舗</td> <td>62店舗</td> </tr> <tr> <td>食品加工業者</td> <td>1店舗</td> <td>1店舗</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140店舗</td> <td>140店舗</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【1,438,692円】</p>	区分	令和元年度	平成30年度	直売所	10店舗	10店舗	小売店・量販店	64店舗	67店舗	飲食業・宿泊施設	65店舗	62店舗	食品加工業者	1店舗	1店舗	合計	140店舗	140店舗	
区分	令和元年度	平成30年度																			
直売所	10店舗	10店舗																			
小売店・量販店	64店舗	67店舗																			
飲食業・宿泊施設	65店舗	62店舗																			
食品加工業者	1店舗	1店舗																			
合計	140店舗	140店舗																			
<p>通年</p>		<p>地場農産物・販売店等マッチング事業の実施</p> <p>◆内容 農産物マッチングコーディネーターを任用してアグリネットワークなど関係機関と連携して、農業者及び実需者情報の収集・整理・分析を図り、適切なパートナーとのマッチングを実施</p>																			

		<p>◆令和元年度マッチング件数</p> <p>13件</p> <p>⇒取引開始した件数 1件(※)</p> <p>⇒商談継続中の件数 5件</p> <p>※ はちみつと洋菓子業者</p> <p style="text-align: right;">【1,153,230円】</p>	
--	--	---	--

(3) 安心感を高める仕組みづくり

実施日	人数等	内容【経費】	場所等
H31.4.17 ～4.23 R1.8.25 ～8.29	—	農産物直売所巡回指導 ・河内農業振興事務所と連携し、出荷制限対象農産物等及び生産履歴記帳についての確認・指導	市内直売所24箇所
R1.7.23	61人	農産物直売所等の食の安全・安心対策研修会 (1) 農薬の適正使用について (2) 食品表示及びHACCPについて (3) その他	河内農業振興事務所
通年	—	生産履歴用紙及びチラシの作成と配布 【206,822円】	希望のあった市内直売所12箇所

◆ 総括

- ・ 宇都宮市農産物を購入した市民に対し抽選で野菜の詰合せなどをプレゼントする地産地消推進キャンペーンをはじめ、飲食店フェアや地産地消推進店の認定などにより、市民や消費者が宇都宮市産農産物を選びやすい仕組みづくりに取り組んだ。

また、マッチング事業の取組を通して、宇都宮市産農産物の利用拡大を図る取組を実施しているほか、メディア関連の学校などと連携し、地産地消啓発ムービーを作成し、市内保育園や小中学校へ配布するなど市民が宇都宮市産農産物を支える意識作りに向けて普及啓発事業にも積極的に取り組んだ。

成果目標としては、現状から1.6ポイント減少しているものの、宇都宮市産農産物を積極的に購入する市民の割合は7割を超えていることから、宇都宮市産農産物の消費拡大に寄与している。

- ・ 出荷者同士が共同で設置・運営する直売所においては、出荷者の一部が生産履歴の記帳に取り組んでいる直売所が多いのに比べ、出荷者全員が取り組んでいる直売所の割合は少なくなるので、改めて生産履歴用紙やチラシを配付することで意識付けを行った。

⇒引き続き、日常的に宇都宮市産農産物を利用してもらえよう、消費者や実需者が選びやすい環境を充実させる取組のほか、生産者から消費者・実需者までの流通体制の推進にも取り組んでいく必要がある。

⇒安全安心な宇都宮市産農産物の供給のため、生産履歴の重要性について、さらなる意識強化や普及啓発を図る必要がある。

【参考 1】 成果目標（令和元年度総会において設定）

地産地消をより推進させるため、引き続き下記目標を設定し、事業を展開していく。

- (1)「手に入れやすい仕組みづくり」「市民が支える仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、宇都宮市産農産物が消費拡大することを目指す。

目標	現状 (2017 年度)	目標 (2023 年度)
宇都宮市産農産物を積極的に購入する市民の割合	77.4%	100%

- (2)「安心感を高める仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、安全安心な宇都宮市産農産物が供給されることを目指す。

目標	現状 (2017 年度)	目標 (2023 年度)
出荷者全てが生産履歴を記帳している直売所の割合	44.0%	100%

【参考 2】 成果目標の最新実績

	宇都宮市産農産物を積極的に購入する市民の割合	出荷者全てが生産履歴を記帳している直売所の割合
年度	R 1 (2019 年)	H 3 0 (2018 年)
実績	75.8 %	33.3 %
参考 ※	—	80.0%

※ 出荷者の一部が生産履歴を記帳している直売所の割合

Ⅱ 令和元年度収支決算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1	交付金	7,574,000	7,574,000	0	
	(1) 交付金	7,574,000	7,574,000	0	宇都宮市
2	助成金	1,652,000	1,652,000	0	
	(1) 団体助成金	1,652,000	1,652,000	0	宇都宮農業協同組合
3	繰越金	263,472	263,472	0	
	(1) 繰越金	263,472	263,472	0	前年度繰越金
4	雑収入	55	55	0	
	(1) 雑収入	55	55	0	利息
合 計		9,489,527	9,489,527	0	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 事務費		357,000	232,308	△ 124,692	
	(1) 会議費	107,000	4,400	△ 102,600	
	(2) 事務費	250,000	227,908	△ 22,092	郵送代, 事務用品ほか
2 事業推進		8,869,000	8,296,256	△ 572,744	
	(1) 普及啓発活動費 【市民が支える 仕組みづくり】	267,000	559,326	292,326	地産地消啓発動画作成にかかる謝礼金 【50,000円】 ほか
	(2) 地場農産物 利用促進費 【手に入れやすい 仕組みづくり】	8,143,000	7,533,430	△ 609,570	朝ごはんフェア【439,922円】 まるかじりキャンペーン, うつのみや産 キャンペーン【4,250,980円】 地産地消推進店認定【1,422,498円】 マッチング事業【1,151,640円】 ほか
	(3) 安全・安心 な農産物供給事 業費【安心感を 高める仕組みづ くり】	459,000	203,500	△ 255,500	生産履歴用紙及びチラシ作成業務 【203,500円】
合 計		9,226,000	8,528,564	△ 697,436	

収入決算額 9,489,527 円

支出決算額 8,528,564 円

差引残高 960,963 円

残額は次年度へ繰越

○ 予算額からの増減理由について

- ・ 事務費については総会開催のための会場借上げ費用が不要になったことなどによる減
- ・ 事業推進費の内、普及啓発活動費については広報周知に向けたDVD複製代などの発生に伴う増
- ・ 事業推進費の内、地場農産物利用促進費については栃木デスティネーションキャンペーンの終了により農産物PRイベントの規模縮小したことからイベント費用の減少に伴う減
- ・ 事業推進費の内、安全・安心な農産物供給事業費については単価抑制による生産履歴表代の単価抑制などに伴う減

監査報告

令和元年度宇都宮市地産地消推進会議の事業執行及び会計について、
関係書類及び帳簿等を監査した結果、事業の執行状況及び会計等すべて適正
であったことを認めます。

令和2年 4月 30日

監事 徳岡浩史 (印)

監事 佐藤要 (印)

※ 個人情報保護法により、署名及び印影の公開は控え、原本を事務局にて保管しています。

議案第2号 令和2年度 事業計画及び収支予算について

令和2年度事業計画及び収支予算について、運営要領第5条第1項第1号及び第2号の規定に基づき、次のとおり議決を求めます。

令和2年4月30日

I 令和2年度事業計画

1 事業方針

「地産地消推進計画（第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画のうち、基本施策3 市民と農家を結ぶ地産地消の強化）」に基づき、直売所等の市内に立地する農産物の販売施設を活かし、市民が宇都宮市産農産物を手に入れやすい仕組みづくりを推進するとともに、引き続き安全・安心な宇都宮市産農産物が提供され、市民の宇都宮市産農産物の購入意欲の喚起につながる事業を展開していく。

なお、新型コロナウイルス感染症による拡大防止の観点から、収束前においては、本推進会議が主催する集客を伴うイベントなどは中止するとともに、収束後においては、消費喚起策に向けた支援策などを構築し、迅速に展開していく。

2 事業内容

(1) 市民が支える仕組みづくり

- ① 宇都宮市産農産物の紹介
- ② 地産地消強化月間（11月）を含めた啓発活動
 - ・ パンフレット配布等による意識啓発
 - ・ 広報紙の他、新聞・ラジオなど、様々な媒体による普及啓発活動
 - ・ 適切な時期における消費喚起に向けた小売店、推進店を活用したキャンペーンや飲食店を活用したフェアなどの実施
- ③ 多様な広報媒体を活用した啓発活動
 - ・ 「農業王国うつのみや」ホームページ、SNS、アグリファンクラブ会員向けメールマガジン等の活用による効率的な情報発信
- ④ 地産地消啓発動画の活用促進
 - ・ 昨年度作成した地産地消啓発動画を市内イベント時やオリオンスクエアでの放映、各学校へ利用促進に向けた働きかけ
- ⑤ 直売所機能充実による消費者の利便性向上
 - ・ 施設の簡易な改修や農産物情報提供のために要する費用等の一部を助成して農産物直売所のイメージアップを図る、「農産物直売所イメージアップ事業」の実施

(2) 手に入れやすい仕組みづくり

- ① うつのみや地産地消推進店の増加・充実など消費者が利用しやすい環境の創出
 - ・ 地産地消の推進に向けた地産地消推進店の増加・充実
 - ・ 地産地消推進店マップの配布や、アグリファンクラブメルマガ、「農業王国うつのみや」ホームページの活用による推進店の認知度向上
 - ・ 地産地消推進店のPR活動として、市民によるSNS等への情報発信
- ② 適切な時期における消費喚起に向けた推進店、小売店を活用したキャンペーンや飲食店を活用したフェアなどな実施【改善】

- ・「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」の実施
(地産池消推進店等を活用したキャンペーン)
- ・「食べよう 採れたて うつのみや産キャンペーン」の実施
(飲食店等を活用したフェア)
- ※ コロナウィルスの影響を踏まえ適切な時期に実施するとともに、民間の提案
を取り入れてより効果的なキャンペーン等を実施

③ 生産者と実需者とのマッチングによる地場農産物の利用促進【改善】

- ・ 市内農業者と実需者のニーズを踏まえ、まとまった利用が見込めそうな給食事業者などの実需者への積極的な働きかけ、継続的な取引につながらなかった生産者・実需者へヒアリングを実施

(3) 安心感を高める仕組みづくり

- ① 生産履歴記帳県河内農業振興事務所と連携し、農産物直売所での生産者への生産履歴記帳等の確認・指導や、県の農産物放射性物質検査への協力
- ② 農産物の安全に関する研修会の開催
 - ・ 県河内農業振興事務所・宇都宮農業協同組合と連携し、生産者に対する農産物の安全・安心に関する研修会を実施
- ③ 農産物直売所イメージアップ事業における残留農薬自主検査の補助
 - ・ 残留農薬自主検査のための測定キットの購入や検査費用の補助

◆主な年間スケジュール（予定）

時期	内容
4月～	マッチング事業の実施
11月	地産地消強化月間における啓発活動
11～2月	採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン
	食べよう 採れたて うつのみや産キャンペーン
3月	農産物の安全安心に関する研修会の開催
随時	地産地消推進店の増加・充実に向けた新規加入店勧誘 直売所の巡回指導

【参考1】 成果目標（令和元年度総会において設定）

地産地消をより推進させるため、引き続き下記目標を設定し、事業を展開していく。

- (1)「手に入れやすい仕組みづくり」「市民が支える仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、宇都宮市産農産物が消費拡大することを目指す。

目標	最新実績 (2019年度)	目標 (2023年度)
宇都宮市産農産物を積極的に購入する市民の割合	75.8%	100%

- (2)安心感を高める仕組みづくり」の目標値として、引き続き以下のとおり設定し、安全安心な宇都宮市産農産物が供給されることを目指す。

目標	最新実績 (2019年度)	目標 (2023年度)
出荷者全てが生産履歴を記帳している直売所の割合	33.0%	100%

Ⅱ 令和2年度収支予算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1	交付金	2,922,000	7,574,900	△ 4,652,900	
	(1) 交付金	2,922,000	7,574,900	△ 4,652,900	宇都宮市
2	助成金	974,000	1,652,000	△ 678,000	
	(1) 団体助成金	974,000	1,652,000	△ 678,000	宇都宮農業協同組合
3	繰越金	960,963	263,472	697,491	
	(1) 繰越金	960,963	263,472	697,491	前年度繰越金
4	雑収入	37	528	△ 491	
	(1) 雑収入	37	528	△ 491	利息等
合 計		4,857,000	9,490,900	△ 4,633,900	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
		280,000	357,000	△ 77,000	
1 事務費	(1)会議費	0	107,000	△ 107,000	
	(2)事務費	280,000	250,000	30,000	事務用品ほか
		4,577,000	8,602,000	△ 4,025,000	
2 事業推進費	(1)普及啓発活動費 【市民が支える 仕組みづくり】	0	267,000	△ 267,000	啓発用物品ほか
	(2)地場農産物 利用促進費 【手に入れやす い仕組みづく り】	4,543,000	8,143,000	△ 3,600,000	地産地消推進店認定, 「採れたて う つのみや まるかじりキャンペーン」 実施費用ほか
	(3)安全・安心 な農産物供給事 業費【安心感を 高める仕組みづ くり】	34,000	459,000	△ 425,000	生産履歴用紙作成ほか
合 計		4,857,000	8,959,000	△ 4,102,000	

○ 令和元年度からの予算増減の理由

- ・事務費については、会議室の借り上げ費用の削減に伴う減
- ・事業推進費の内、普及活動啓発費については、啓発用物品代の増加などに伴う増
- ・事業推進費の内、地場農産物利用促進費については、コロナウィルス感染症の影響によるイベント関連費用の削減に伴う減（※集客を伴うイベント、PRについては中止の取扱い）
- ・事業推進費の内、安心・安全な農産物供給事業費については、生産履歴用紙作成代の単価抑制などに伴う減